

平成29年度 指定管理業務 事業評価書

施設名	袖ヶ浦市臨海スポーツセンター				
施設所管課名	体育振興課				
指定管理者名	フクシ・ハリマ共同事業体				
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日（5年間のうち4年目）				
利用料金制	<input type="checkbox"/> 導入 <input type="checkbox"/> 一部導入 <input checked="" type="checkbox"/> なし		※「一部導入」は利用料金制を導入しているが指定管理料を支出している施設		

1 施設の概要

施設の所在地	袖ヶ浦市長浦1-57
施設の設置目的	市民の健全なる心身の発達並びにスポーツの普及及び発展を図るとともに、明るく健康的な生活の形成に寄与するため設置された施設である。
指定管理業務内容	(1)施設の貸出に関する受付業務 (2)施設の貸出管理に関する業務 (3)施設の維持管理に関する業務 (4)日々雇用職員の勤務状況把握及び業務の指示 (5)備品貸出及び管理に関する業務 (6)施設利用者数等の統計業務 (7)施設管理一般に関する業務

2 利用状況

項目	今年度 計画値	今年度 実績値	対計画比 (%又は増減)	前年度 実績値	対前年度比 (%又は増減)
開館日数（日）	345	345	100.0%	345	100.0%
施設利用者数（人）	160,000	163,588	102.2%	167,123	98%
貸室（設備）稼働率（%）	67.0%	55.4%	▲ 11.6	67.2%	▲ 12
事業開催数	916	913	99.7%	928	98%

3 施設の経営状況

（単位：千円）

項目	今年度 計画値	今年度 実績値	対計画比 (%又は増減)	前年度 実績値	対前年度比 (%又は増減)
指定管理料	138,616	122,484	88.4%	124,575	98.3%
利用者当たり管理コスト	0.87	0.76	87.5%	0.77	99.4%
利用者当たり自治体負担コスト	0.87	0.75	86.4%	0.75	100.4%

[評価結果]

評価項目	評価基準	自己評価	所管課評価
I 履行の確認			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 職員配置	基準に基づき、適切な人員配置がされたか	B	B
(2) 職員研修	業務に必要な研修・教育が適切に行われたか	B	B
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	A	A
2 利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は、適切な水準であるか	B	B
(2) 利用[使用]料金	利用料金の設定、利用[使用]料金の徴収・減免・還付の手続きは適切であるか	A	A
3 保守点検並びに清掃等業務等			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか	A	A
(2) 清掃業務・維持管理業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか	B	B
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか	A	A
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	B	A
4 事業の実施に関する業務			
(1) 指定事業	基準に基づく事業が適切に行われたか	A	A
(2) 自主事業	施設の目的に沿った自主事業が適切に行われたか	B	B
5 個人情報の取扱	個人情報の取扱いが適正に行われたか	A	A
I の総括	当該施設評価項目数 《標準評価項目数 12本》	12本	A
* 指定管理者の自己評価	施設の保守点検整備を適切に行い、経理や事務においてもミスなく行えたと思います。施設や設備の経年劣化による破損等が多くありましたが、迅速に対応し、滞りなく運営することができました。		
* 施設所管課の評価	老朽化の激しい施設や設備を丁寧に維持管理し、利用者に不便な思いをさせぬよう努力しています。修繕等の対応では、市に対して速やかな報告・連絡・相談を実施して適切に実施することができました。		
II サービスの質の評価			
1 利用者満足度	利用者アンケートを実施し、その結果は妥当であるか	A	A
2 維持管理業務 (清掃、備品等の維持管理)	日常清掃業務や衛生管理は適正であるか 備品などの設備の維持管理は適正であるか	B	A
3 運営業務 (貸出状況、接客対応等)	備品の貸出状況や消耗品等の補充状況は適切であるか 利用許可など利用者への接客対応は適切であるか	B	B
4 指定・自主事業(事業内容の質)	実施された事業内容は、質の高いものであったか	B	B
II の総括	当該施設評価項目数 《標準評価項目数 4本》	4本	B
* 指定管理者の自己評価	サービスの向上を図るため、アンケート等利用者の声をできるだけ運営に反映できるよう努めており、利用者アンケートの満足度調査では8割以上の方の高い評価を得ています。今後もより一層の充実と改善を図ります。		
* 施設所管課の評価	老朽化した施設や設備が原因の苦情もあるが、利用者の満足度は高く、指定管理者の努力により、サービスの質は高く維持されていると考えている。		

総合評価		I・II を合わせた総合評価	自己評価	所管課評価
			A	A
総合評価に係る 総括意見	指定管理者	経年劣化による諸々の破損は発生しているが、発見次第、速やかに対処して施設の安全性と種目の競技性を保っている。		
	施設所管課	施設や設備の老朽化が激しく、適正な維持管理が難しいところを、指定管理者のノウハウと努力で運営できていると考えています。		
その他特記事項 (成果・改善等)	指定管理者	プールの利用者が向上しているため、さらに増加するための事業展開と環境整備を今後も図っていく。		
	施設所管課	施設や設備の老朽化の他、様々な制約があり、指定管理者の努力や工夫だけでは、利用者の増加や満足度の向上は難しいと考えていますが、引き続き自主事業の充実等を図る必要はあると考えます。		

《評価区分》

①評価基準	<p>A (優良) = 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である</p> <p>B (良好) = 協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である</p> <p>C (課題含) = 協定書等の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある</p> <p>D (要改善) = 協定書等の基準が遵守しておらず、改善の必要な内容である</p>
②総括	<p>A (優良) = 評価基準がすべてB以上であり、かつAが過半数以上である</p> <p>B (良好) = 評価基準がすべてC以上であり、かつB以上が8割以上である</p> <p>C (課題含) = 評価基準がすべてC以上である</p> <p>D (要改善) = 評価基準にDが含まれている</p>
③総合評価	<p>A (優良) = 総括がすべてB以上であり、かつAが1つ以上である</p> <p>B (良好) = 総括がすべてB以上である</p> <p>C (課題含) = 総括がすべてC以上である</p> <p>D (要改善) = 評価基準にDが含まれている</p>